

はぐく 市民と育む45年春季文化祭

中央公民館・文化会館・総合福祉会館

26・27・28 3会場で開催

海老名市文化団体連合会(嶋村與四松会長)では、今年26日(土)・27日(日)の2日間、教育委員会との共催で、「春季文化祭」を開催します。

当日は、中央公民館、文化会館、総合福祉会館を会場に、作品の展示と出演発表が行われます。同連合会結成から45年、市民とともに作り、育ててきた海老名の文化の教養が披露されます。お誘い合わせのうえぜひお越しください。内容は次のとおりです。

- 展示部門
 - ▽日時 5月26日(土)・27日(日)、時間はともに午前10時から午後4時まで
 - ▽会場 中央公民館、文化会館の一部、総合福祉会館2階和室
 - ▽内容 書道、華道、茶道(27日のみの開催、茶席有料)、短歌、俳句、菊花、盆栽、食生活(模擬店含む) ※菊花と盆栽は、廉価販売あり
 - 出演部門
 - ▽日時 5月27日(日) 午前10時から午後4時ころまで
 - ▽会場 文化会館大ホール
 - ▽内容 日本舞踊、新日本舞踊、詩吟、三曲、民謡舞踊、剣詩舞道

5月5日はファミリースポーツデー

運動公園と北部公園 5施設を無料開放

野球場ではイースタン公式戦も

市では、スポーツの高揚を図るとともに、コミュニケーションの場を提供するため、5月5日(祝)をファミリースポーツデーとして、海老名運動公園の3施設と、北部公園の

●無料開放施設・利用時間

- ①海老名運動公園総合体育館 北部公園体育館 午前9時から午後9時まで。1回の利用は1時間まで。ただし、トレーニング

- ②海老名運動公園陸上競技場(トラックのみ) 午前9時から午後9時まで
- ③海老名運動公園屋内プール、北部公園屋内プール 午前9時から午後8時30分まで

●イースタン湘南リーグ戦

- ▽対戦カード 湘南シーレッツ対ヤクルトスワローズ
- ▽日時 5月5日(祝)午後1時試合開始開場は午前11時を予定
- ▽場所 海老名運動公園野球場
- ▽入場料 バックネット裏 2100円 内野芝 大人1600円 小人1000円、外野芝 大人1000円 小人500円
- ▽入場券販売場所 海老名運動公園野球場ほか

市内17地点で基準値下回る

ダイオキシン類環境調査結果

市では、大気と土壌にどの程度ダイオキシン類が含まれているかを把握するため、環境調査を行いました(別表参照)。今回の調査結果では、すべての地点で環境基準値を下回るものとなっています。市では今後もダイオキシン類の環境調査を継続していきます。

ダイオキシン類の毒性の強さは「TEQ(毒性等量)」という単位で表します。「1ピコグラム(pg)TEQ/m³」は1立方メートル当たり1ピコグラム(1μg)の1兆分の1のダイオキシン類が含まれることを表します。

●環境保全課(内53)

調査地点	結果	環境基準
東柏ヶ谷小学校	4.4	1000
柏ヶ谷小学校	3.7	
上星小学校	3.1	
今泉小学校	6.9	
有鹿小学校	2.5	
杉本小学校	4.6	
海老名小学校	3.6	
大谷小学校	2.2	
中新田小学校	2.2	
社家小学校	4.3	
杉久保小学校	6.7	

「海老名市教育史」を発刊

第1巻近代資料編、1日販売

教育委員会では、「海老名市教育史第1巻・近代資料編(写真)」を発刊しました。

この書籍は、明治6年から昭和20年までの市域の教育に関する資料をまとめたもので、「近代教育の幕あけ」「関東大震災と海



老名市域の学校」など全10章で構成。ほかに近代以前の寺子屋の関係資料や、昭和初期の海老名尋常高等小学校生徒による作文も収録されていて、一般の市民の方にも興味深い内容となっています。

A5判、882ページ。5月1日(火)から市内公共施設で閲覧できます。また同日から、市役所地下売店で販売も行います。価格は1冊5000円。

●教育センター(☎233・771)。

●試合時間中は周辺園路の立入り禁止

イースタンリーグ公式戦の試合時間中(午後1時から4時ごろまで)は、ファウルボールなどによる事故防止のため、野球場周辺の園路の立ち入りが禁止されます。この間、テニスコート、ランニングコースを利用する方はう回してください。ご協力をお願いします。

●体育課(内67)。

海老名むかしばなし

者は国の、後者は市の重要文化財の指定を受けている、二尊像にライトを当てている。氏は惜しくも昭和四十四年三月十日、五十八歳の若さで永眠された。歌は、その前年の作である。

相模川瀬瀨さためぬ渡し辺に
まだそれ迄の橋かかりにけり 河野 覚一



覚一師は国分寺住職。出身地は淡路島、詳しくは兵庫県三原郡、緑町倭文土井。師が正式に国分寺住職に入山されたのは明治三十三年四月六日、関係文書に「国分寺普山式入費控帳」がある。「普山式」とは、僧侶が新たに一寺の住職になる儀式のこと。歌は、その前年の作である。



覚一師の歌にある
渡り場の仮橋は心細い、何とかならぬかとの思いがそこはかとなく感じられる歌である。ちなみに、河原口・中新田と厚木町の三者で、最初の本橋の相模橋を架けたのは、明治四十一年十月のことである。なお、師は国分寺からの眺めのよさを、次のように詠んでおられる。

我が庵はさがみ川辺のひがしかた
まなかにふじの山も見えけり
この国分寺の詠歌に、作者不明の次の作がある。
朝日さし夕日かがやく国分寺
いつも絶やせぬ尼の泣水
また、この歌と上の句が殆ど同じ、作者不詳の次の歌が国分に伝えられている。

朝日さし夕日輝くこの山に
黄金千杯朱千杯
「この山」とは、土地の人々が「ひょうたん山」と呼んでいた、現ひさご塚のことである。塚は前方後円墳で、長さ六〇〇メートル、標高六八・六メートル、市内三位の高所。朝日夕日をまともに受け、かつては伊豆の大島も見えた。歌は、ここに眠る豪族の主または貴人の、黄金作りの太刀や王冠など、期待の副葬品に思いを馳せたものである。何となくロマンがあり、心を弾ませてくれる短歌である。

電話で海老名の昔話が聞けます
5/9まで 第260話 竜祭り
5/10/6/11 第261話 弁天様のお使い
みんわみんわ

池田 武治

みんわみんわ

かる機会がないようです。実は、懐かしさのために、金太郎飴について書こうとしたわけではないのです。今はまったく金太郎飴時代だなどと思ふことばかりからです。



あめ 金太郎飴

思いつくままに

「金太郎飴なんて知らない」という人も、おいでかもしれません。棒状の飴を、どこで切っても同じように金太郎が出てくる飴ですが、今では、七五三の千歳飴しかお目にか

早い話が、私たちが毎日口にしてる食べ物でさえ、旬もなければ走りもない。そして生産地も関係ない。このことは、食べ物だけではなく、私たちの身の周りにごろごろしているのではないのでしょうか？

そのことを象徴している次のような言葉があるのを見ても、おわかりのことと思います。例えば、画一的とか、没個性とか、平等という名の悪平等、さらにはおてつないでゴールインとか。

どんな事象であれ、平等でなくてはならないのは当然なことですが、平等これすなわち同質ではないのです。ですから、人間には得手、不得手があり、適性があり、これらうまくかみ合い補完しながら、家庭が、学校が、組織が、集団が成り立っているのだと思

国民総中流家庭という意識を否定するものではありませんが、自分らしい身の丈にあった生活、生き方、考え方をこそ大事なことだと思

海老名市長 亀井 英一